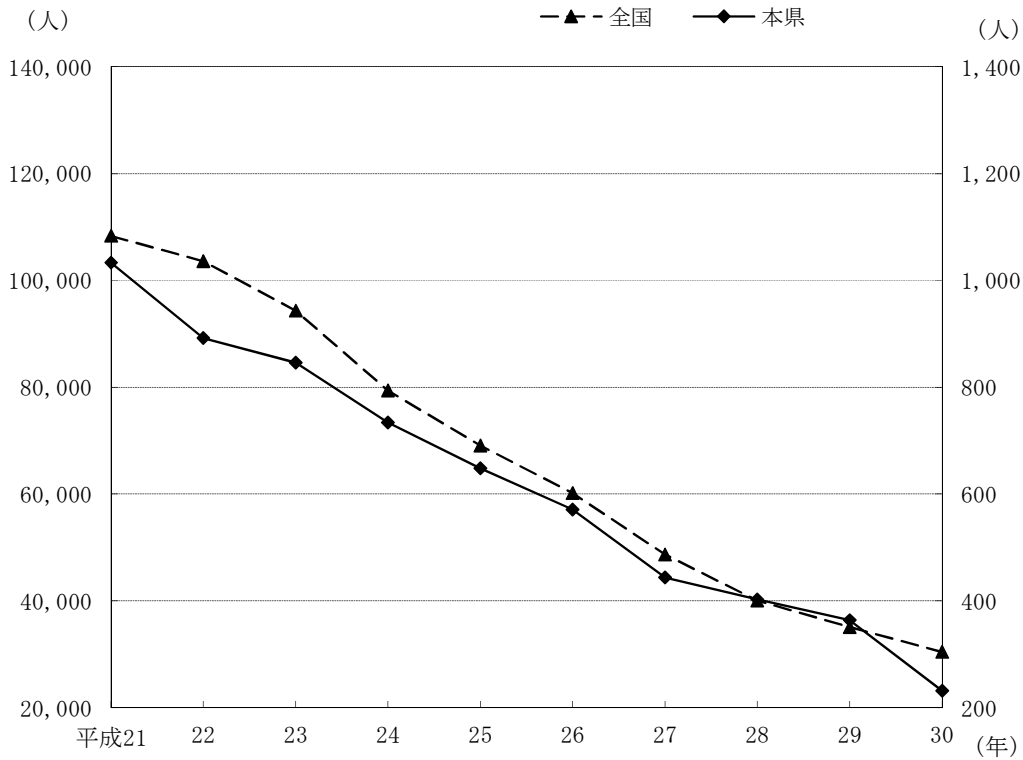


## 第7章 少年の非行

### 1 刑法犯少年及び触法少年（刑法）の検挙・補導状況

#### (1) 年次別推移



(単位：人)

年	平成21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
本県	1,033	892	846	734	648	571	444	403	364	232
全国	108,311	103,573	94,312	79,393	69,061	60,207	48,680	40,103	35,108	30,458

資料：県警察本部

<232人の内訳>

小学生：47人 (20.3%)	中学生：78人 (33.6%)	高校生：49人 (21.1%)
他生徒：3人 (1.3%)	有職：38人 (16.4%)	無職：17人 (7.3%)

※刑法犯： 窃盗犯(166人)，粗暴犯(23人)，凶悪犯 (12人)， 風俗犯 (4人) の順

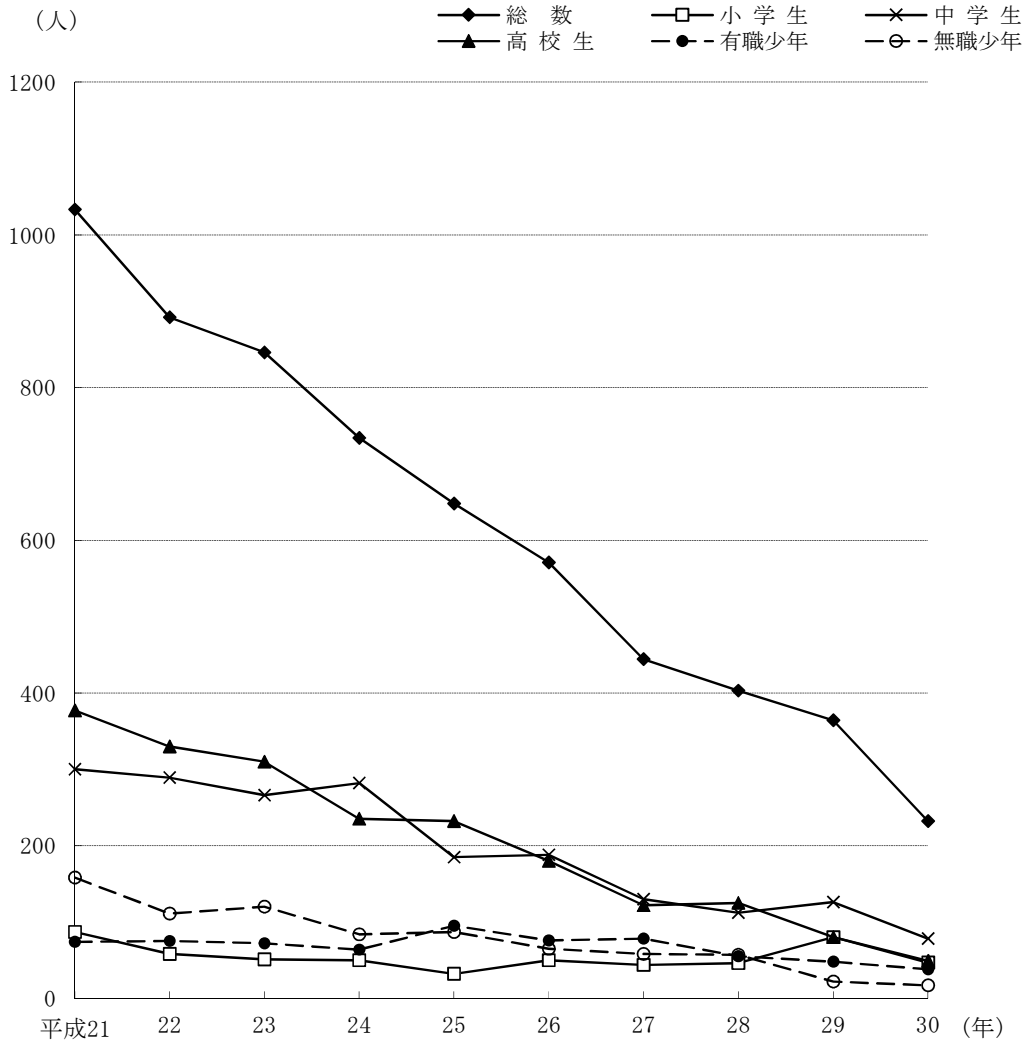
#### (2) 罪種別推移

(単位：人)

年	平成21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
刑法犯	凶悪犯	6	8	14	3	8	2	3	11	2	12
	粗暴犯	53	61	63	57	59	98	69	43	46	23
	窃盗犯	771	675	651	560	482	393	316	294	258	166
	知能犯	4	6	2	3	4	1	0	9	1	1
	風俗犯	7	5	8	13	13	3	4	3	11	4
	その他	192	137	108	98	82	74	52	43	46	26
計	1,033	892	846	734	648	571	444	403	364	232	

資料：県警察本部

(3) 学職別推移



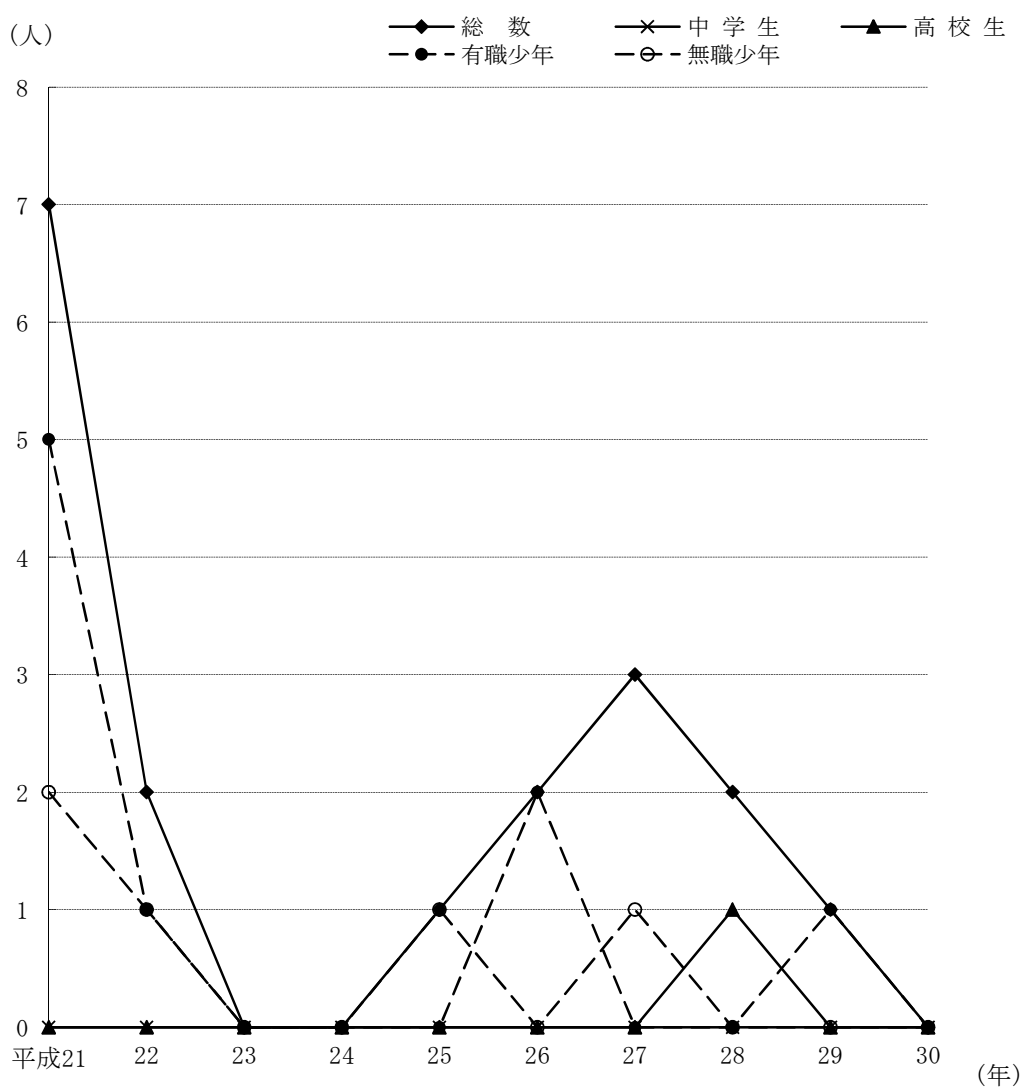
(単位：人)

年	平成21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
総数	1,033	892	846	734	648	571	444	403	364	232	
未就学児	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	
学生 生徒	小学生	87	58	51	50	32	50	44	46	80	47
	中学生	300	289	266	282	185	188	130	112	126	78
	高校生	377	330	310	235	232	180	122	125	80	49
	その他	37	29	27	19	16	12	12	8	8	3
有職少年	74	75	72	64	95	76	78	55	48	38	
無職少年	158	111	120	84	87	65	58	57	22	17	

資料：県警察本部

平成30年中に検挙・補導された刑法犯少年は153人、触法少年(刑法)が79人で計232人、前年に比べ132人減少した。

## 2 シンナー等薬物乱用少年の検挙・補導状況



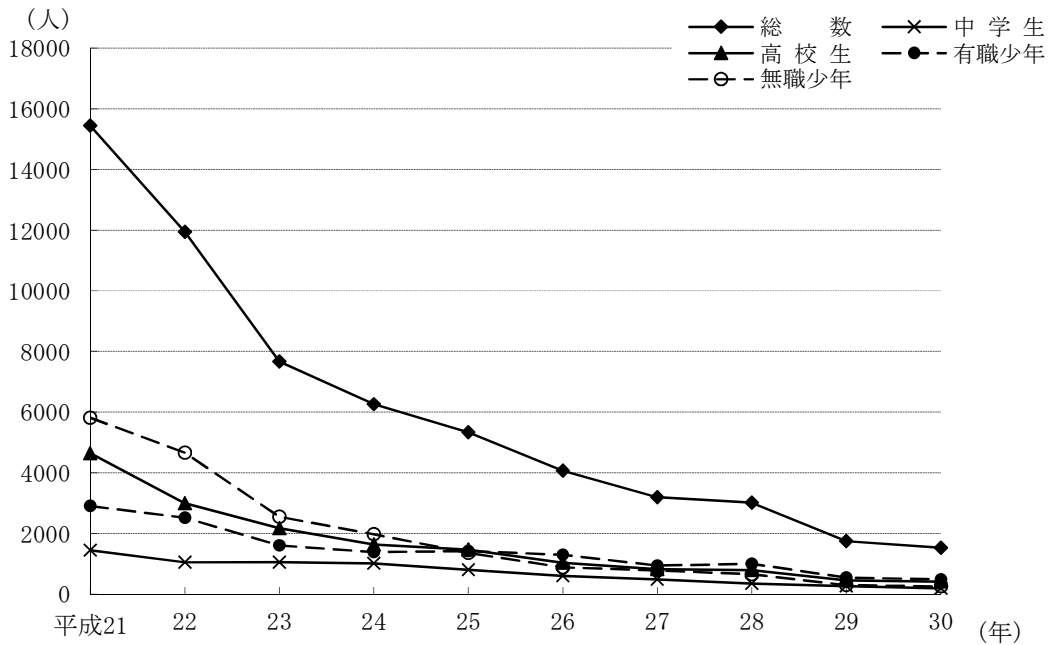
(単位：人)

年	平成21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
総数	7	2	0	0	1	2	3	2	1	0
生徒	中学生	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	高校生	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	その他学生	0	0	0	0	0	0	1	0	0
	小計	0	0	0	0	0	0	1	1	0
有職少年	5	1	0	0	0	2	0	0	1	0
無職少年	2	1	0	0	1	0	1	0	0	0

資料：県警察本部

### 3 ぐ犯・不良行為少年の補導状況

#### (1) 学職別・年次別推移



(単位：人)

年	平成21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
総数	15,437	11,939	7,666	6,264	5,333	4,067	3,198	3,020	1,752	1,535	
未就学	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
生徒	小学生	40	41	48	33	30	53	35	32	17	26
	中学生	1,450	1,058	1,059	1,013	805	613	486	352	275	195
	高校生	4,648	2,995	2,176	1,636	1,468	1,038	829	800	461	416
	大学生	245	308	96	88	79	81	50	86	69	76
	その他	330	347	127	123	167	92	65	89	70	73
有職少年	2,907	2,526	1,606	1,391	1,417	1,303	943	1,003	554	491	
無職少年	5,816	4,663	2,554	1,980	1,367	887	790	658	306	258	
(うち、ぐ犯少年)	15	24	11	13	2	11	7	6	3	13	
(うち、不良行為少年)	15,422	11,915	7,655	6,251	5,331	4,056	3,191	3,014	1,749	1,522	

資料：県警察本部

ぐ犯・不良行為少年は、前年に比べ217人(14.1%)減少している。

不良行為少年を行為別にみると「喫煙」、「深夜はいかい」の順で多く、両行為で80.3%を占めている。

不良行為少年の学職別では「有職少年」、「高校生」の順で多く、両者で59.3%を占めている。

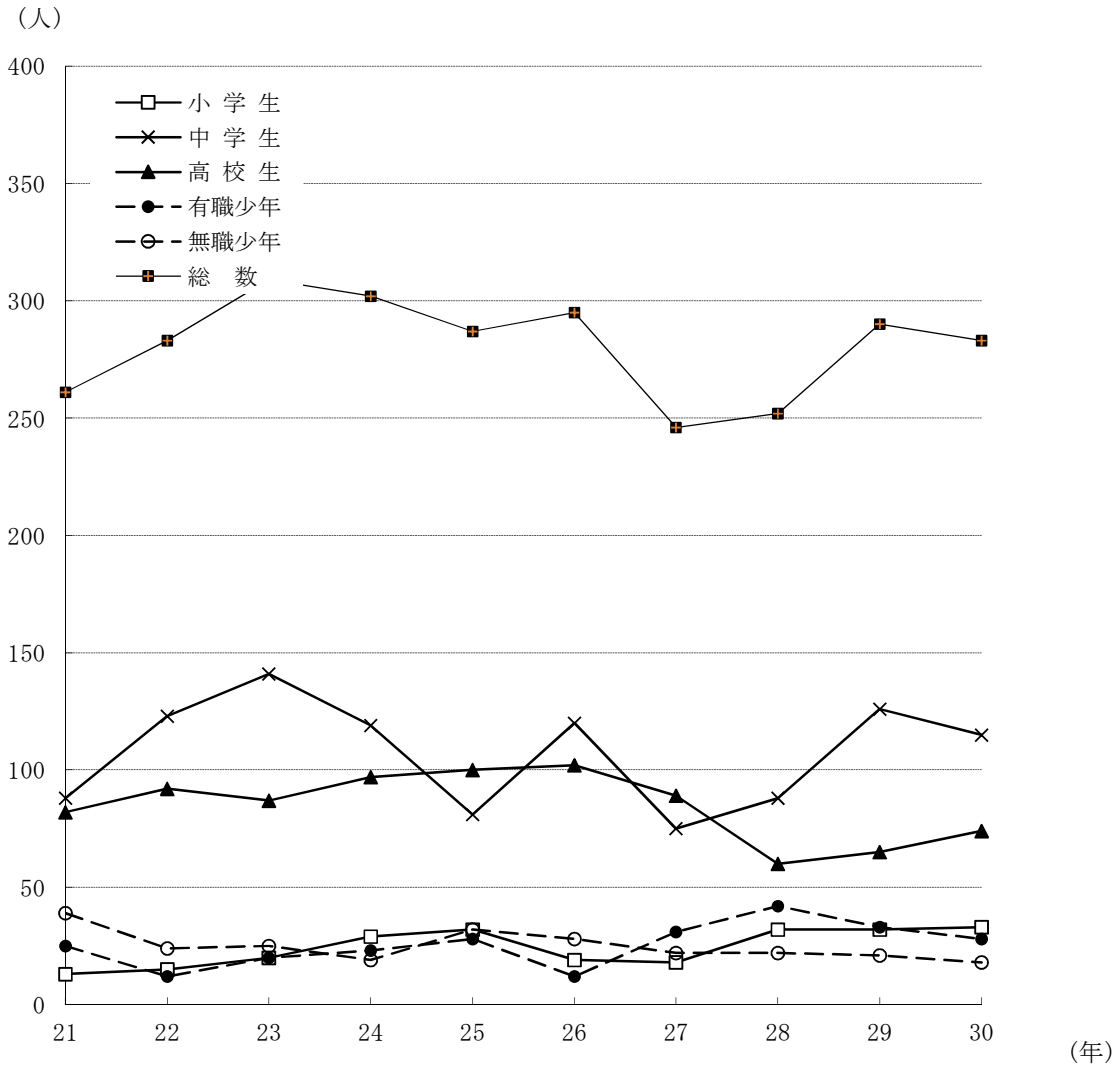
(2) 平成29年中不良行為ワースト5  
(不良行為少年総数 …… 1,749 人)

① 喫煙	771 (44.1%)
② 深夜はいかい	681 (38.9%)
③ 飲酒	129 (7.4%)
④ 家出	55 (3.1%)
⑤ 怠学	53 (3.0%)

(3) 平成30年中不良行為ワースト5  
(不良行為少年総数 … 1,522 人)

① 喫煙	711 (46.7%)
② 深夜はいかい	523 (34.4%)
③ 飲酒	138 (9.1%)
④ 家出	75 (4.9%)
⑤ 怠学	30 (2.0%)

#### 4 行方不明少年の状況



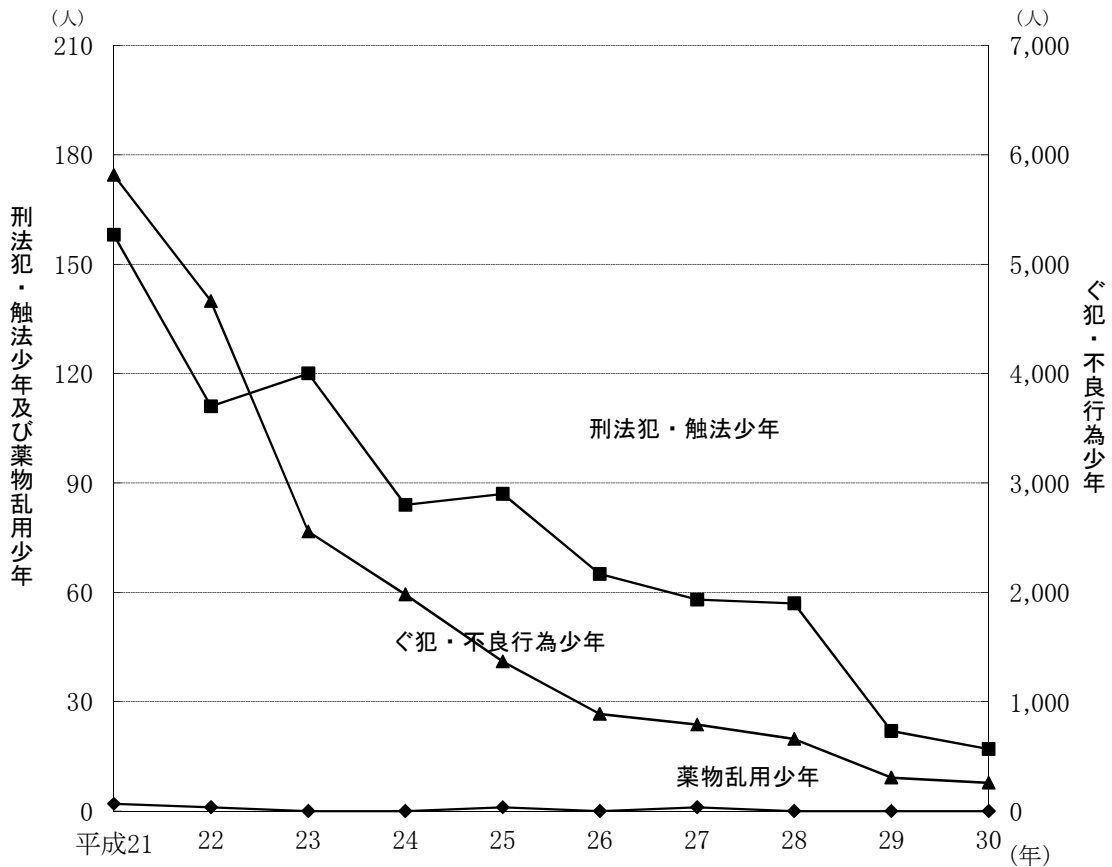
(単位：人)

年	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
未就学	2	4	4	7	7	8	3	4	3	8	
生徒	小学生	13	15	20	29	32	19	18	32	32	33
	中学生	88	123	141	119	81	120	75	88	126	115
	高校生	82	92	87	97	100	102	89	60	65	74
	その他	12	13	12	8	7	6	8	4	10	7
有職少年	25	12	20	23	28	12	31	42	33	28	
無職少年	39	24	25	19	32	28	22	22	21	18	
総数	261	283	309	302	287	295	246	252	290	283	

資料：県警察本部

平成30年中に警察で受理した行方不明少年は283人で、前年に比べ7人(2.4%)減少している。

## 5 無職少年の非行状況



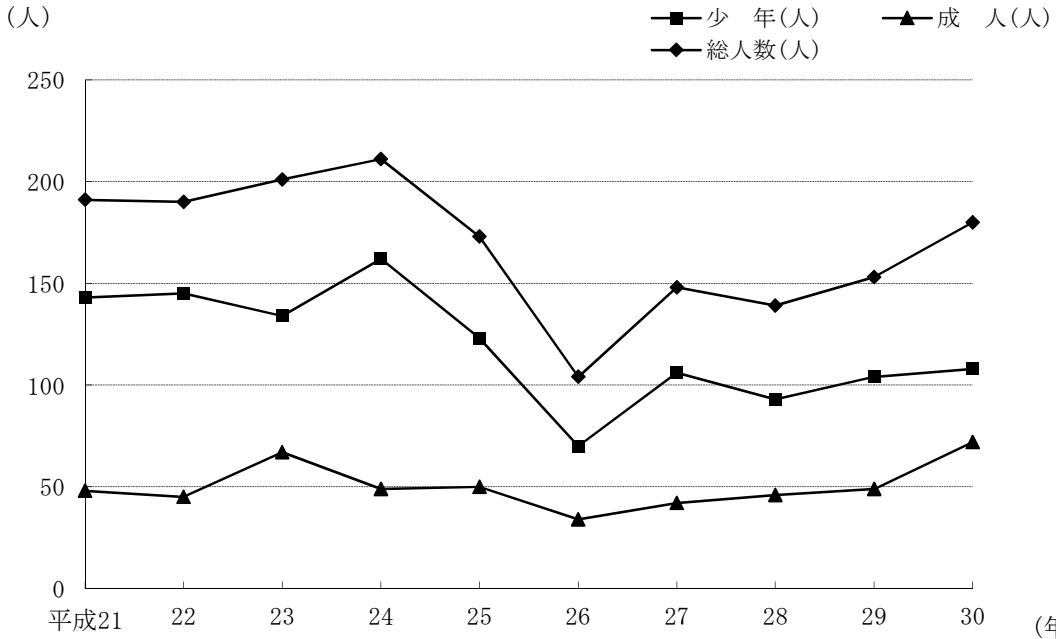
(単位：人)

年		平成21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
刑犯・触法少年	全体	1,033	892	846	734	648	571	444	403	364	232
	うち無職	158	111	120	84	87	65	58	57	22	17
	構成比(%)	15.3	12.4	14.2	11.4	13.4	11.4	13.1	14.1	6.0	7.3
薬物乱用少年	全体	7	2	0	0	1	2	2	1	1	0
	うち無職	2	1	0	0	1	0	1	0	0	0
	構成比(%)	28.6	50.0	0.0	0.0	100.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
ぐ犯・不良行為少年	全体	15,437	11,939	7,666	6,264	5,333	4,056	3,198	3,020	1,752	1,535
	うち無職	5,816	4,663	2,554	1,980	1,367	887	790	658	306	258
	構成比(%)	37.7	39.1	33.3	31.6	25.6	21.9	24.7	21.8	17.5	16.8
計	全体	16,477	8,512	6,998	5,982	5,982	4,629	3,644	3,424	2,117	1,767
	うち無職	5,976	2,674	2,064	1,455	1,455	952	849	715	328	275
	構成比(%)	36.3	31.4	29.5	24.3	24.3	20.6	23.3	20.9	15.5	15.6

資料：県警察本部

## 6 暴走族の現状

### (1) 年次別推移



年	平成21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
グループ数	4	4	1	3	1	1	1	3	2	2
少年(人)	143	145	134	162	123	70	106	93	104	108
成人(人)	48	45	67	49	50	34	42	46	49	72
総人数(人)	191	190	201	211	173	104	148	139	153	180

※人数は未組織を含んだ総数 資料：県警察本部

平成30年末現在、暴走族（暴走族志向者等を含む。）は、2グループ、180人で前年に比べ、人数は27人増であった。

### (2) 構成状況

(単位：人)

年	学生・生徒		有職者		無職者		計	
	少年	成人	少年	成人	少年	成人	少年	成人
平成21	31	2	48	21	64	25	143	48
22	27	0	42	23	76	22	145	45
23	24	2	51	31	59	34	134	67
24	32	2	81	19	49	28	162	49
25	6	1	63	22	54	27	123	50
26	4	0	31	21	35	13	70	34
27	17	0	51	22	38	20	106	42
28	18	2	53	31	22	13	93	46
29	21	0	64	36	19	13	104	49
30	12	0	75	59	21	13	108	72

※人数は未組織を含んだ総数 資料：県警察本部

平成30年末現在、少年の構成率は約60.0%の108人である。少年のうち無職者は、約19.4%の21人である。

## 7 有害図書等の指定

### (1) 映画、図書等の個別指定状況

(単位：件)

年 度	平成21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
有害図書等	映 画 等	108	111	108	111	110	113	108	112	69	0
	雑 誌	174	169	141	141	129	100	92	77	74	48
	ビデオテープ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	刃物等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	282	280	249	252	239	213	200	189	143	48
推奨(映画)	0	1	0	0	2	0	1	0	2	1	

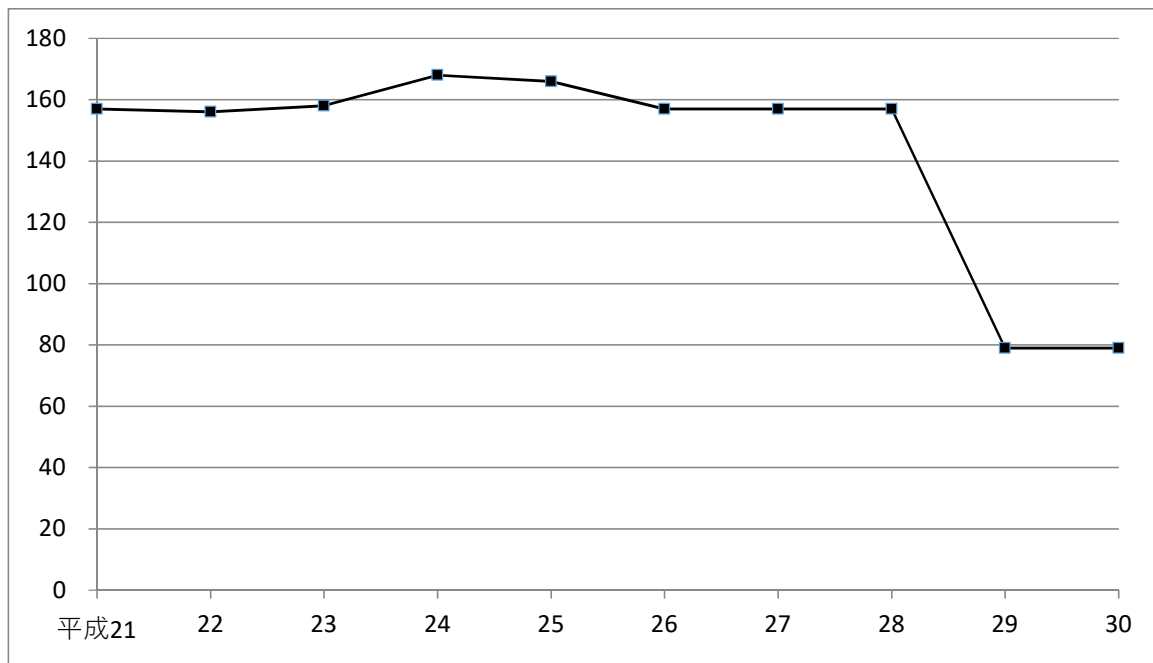
資料：青少年男女共同参画課(平成31年3月31日現在)

昭和62年2月から性描写もののビデオテープを、また、平成元年10月から残虐もののビデオテープを、さらに平成3年11月から少年少女向けの性描写もののコミック誌を指定している。

なお、平成9年1月から有害図書等の包括指定制度が導入されたことから、近年はビデオテープ等の個別指定はされていない。

また、映画について、平成29年9月に県内で唯一、性描写ものを取り扱っていた映画館が閉館したことから、9月以降の指定を行っていない。

### (2) 図書等自動販売機の設置状況



年 度	平成21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
台 数	157	156	158	168	166	157	157	157	79	79

資料：青少年男女共同参画課(平成31年3月31日現在)

県内の図書等自動販売機は、昭和56年度には150台であったが、平成2年度に35台まで減少した。その後新規業者の参入等により再び増加傾向に転じ、平成26年度末は157台であったが、平成29年6月に1業者が廃業したことから、79台まで減少した。



## 8 サイバー補導の状況

(単位:人)

年	H26	27	28	29	30
18歳未満	3	4	3	7	3
18歳以上20歳未満	4	3	6	4	3
計	7	7	9	11	6

資料：県警察本部（平成30年末現在）

※平成25年10月開始

※サイバー補導とは、児童が援助交際を求めるなどのインターネット上の不適切な書き込みをサイバーパトロールによって発見し、書き込みをした児童と接触して、直接、注意・指導すること

## 9 テレホンクラブ(店舗型電話異性紹介営業)・ツーショットダイヤル(無店舗型電話異性紹介営業)営業所の設置状況

(平成30年12月末現在)

市町村名	テレホンクラブ (店舗型電話異性紹介営業) 営業所数	ツーショットダイヤル (無店舗型電話異性紹介営業)	
		営業所数	カード自動販売機台数
鹿児島市	0	9	1 (1)
鹿屋市	0	1	
計	0	10	1 (1)

( ) は、青少年立入り禁止場所への設置数で内数

資料：県警察本部

### 【テレホンクラブ等営業を介した少年の性的被害状況】

区分	事件数	検挙人数	被害少年数
22年	5	5	1
23年	0	0	0
24年	0	0	0
25年	0	0	0
26年	0	0	0
27年	0	0	0
28年	0	0	0
29年	0	0	0
30年	0	0	0

資料：県警察本部

### 【出会い系サイト等を介した少年(20歳未満)の性的被害状況】

区分	事件数	検挙人数	被害少年数
25年	10	10	9
26年	18	22	19
27年	16	16	18
28年	26	26	16
29年	28	28	21
30年	33	27	29

資料：県警察本部

出会い系サイト等を介した少年が被害者となった犯罪は、33件（前年比5件増）で27人（前年比1人減）を検挙し、性被害に遭った少年29人（前年比8人増）を保護している。